

前腕の骨折の治療を受けられる患者さんへ

病名:(□右 □左) 病名：手術名:骨接合術

月/日	/	/		/	/	/
経過	入院日（手術前日）	手術当日(術前)	手術当日(術後)	術後1日目	術後2日目	退院日（術後3日目）
達成目標	入院生活・手術について理解出来る	①痛みのコントロールが出来る。②創部に問題がない(出血、浸出液、皮下血腫、しびれ)。③安静度を守り転倒なく過ごせる。				
治療	シーネ固定がある際は、適宜、看護師が包帯のまき直しを行います。（必要時、三角巾固定をします）					
処置			術後、心電図モニターや酸素マスクをすることがあります。	傷の状態に応じて医師が傷の消毒を行います。 抜糸は術後10日目を目処に外来受診時に行ないます。		
薬剤	これまで服用していた薬の内容が一部変更になることがあります	手術前より点滴を開始します。点滴は手術翌日まで持続して施行します。 手術開始時に感染管理の観点から抗菌薬を投与します。 手術当日（手術後）に2回抗生剤の点滴があります。			手術前に中止していた薬を再開します	
リハビリ	手術当日のリハビリはありません			医師の指示で状態に応じて開始します		
検査		手術室でレントゲン撮影をします		採血をします		
活動・安静度	制限はありません 三角巾固定が必要な場合があります			基本制限はありませんが、手術後三角巾で固定をします		
栄養(食事)	21時以降は絶食となります。 麻酔医の指示で当日の朝まで飲水可能です。	終日絶食です 		腸の動き、排ガスを確認後に 飲食が開始となります		
清潔	体拭きは可能です。 医師許可あればシャワー浴可	体拭き後、手術着へ更衣		体拭きを行います	医師の許可があればシャワー浴可	
排泄	制限はありません		ふらつきがなければトイレでの排泄が可能です。初回は看護師が付き添います。術後、尿の管が入っていることがあります。	尿管が入っている場合は術後1日目に尿管を抜去します。 その後はトイレ歩行可能です。		
説明・その他	爪切りの確認をします。 指輪、義歯、眼鏡等は手術の際、外す必要があるため確認します 手術に必要な物品を準備します 麻酔科医と手術室看護師より説明があります	・手術後に主治医から説明があります。ご家族の方は電話にいつでも出られる状態で待機をお願いします。（院内での待機はできません。） ・床頭台の鍵は手術室に行く前に看護師へ預けてください。		看護師より手術後の生活について説明を行います		次回外来再診日（抜糸日）の説明を行います 
			術後、腕が腫れることがあるので腕を心臓より高くしてもらったり、腫れ防止のために冷やす場合があります。	痛みが強い場合は遠慮なくお申し出ください。		

※入院期間や治療内容は現時点で予測されるもので、症状により変わります。